

ドクター中村に祈りを 捧げながら働いています

PMS農業事業責任者・技師
アジユマルスタニクザイ

政変後の活動など

日本の皆さまへ。PMSガンベリ農場では、柑橘園、ビエラ園、ナツメヤシ園、十二・五ジェリブ（五・五ヘクター）のサトウキビ畑、畜産、養蜂、S4区の整地、防風・防砂林、ドクターナカムラ公園での作業が日々行われています。米や小麦、モロコシ、季節の野菜の栽培も含め、私たちはこれらの事業を今後更により良いものにしていくために一生懸命に働き続けます。

アフガニスタンは昨年夏に政変がありましたが、私たちの活動は以前と変わりなく進められております。今回は政変時から現在に至る様子をご報告いたします。

二〇二一年八月十五日の政変後、私たちはシェイワ郡長と面会してPMSの活動に

関する情報を提供しました。郡長は、PMSは最も有益な活動をしていると大変満足し、「中でもマルワリード用水路建設は同郡の大半を灌漑して農地を復旧させ、何千もの家族に就労機会を提供している。オレンジ、レモン、スイートオレンジなどの果樹園やそれに隣接して造られた公園は地域に大いに役立っている」と感想を述べました。

私たちはその頃農場で発生していた問題について相談をしました。郡長は「ドクターナカムラの活動には深く感銘を受けた。私もあらゆる面で協力するのは是非これからも活動を続けて欲しい」と言われました。

その後、郡長と共にナンガラハル州農業局長アブドゥルサタールモハマッド氏と面会し、PMSの進行中および完了した活動について説明しました。同氏も大変に感銘を受け、「ドクターナカムラはナンガラハル州の財産であり、ドクターナカムラが州の住民のために多大な力を注がれた様々な事業をこれからも続けて行きましょう」と話されました。

私たちはPMSガンベリ農場での土壌のpH値検査をお願いしました。農業局長は私

たちの要望を受け入れて州政府のプロの検査技師チームを農場に派遣してくれました。土壌サンプル四〇点が採取され、その数日後に結果を出してくれました。

ナンガラハル州政府の新灌漑局長とも面談をしました。局長は、「PMSは貧しい人々に就労機会を提供してきた。タリバンの代表として深い感謝を述べたい。PMSの更なる働きを願う。我々もアフガニスタンで活動する全ての組織をサポートする覚悟でいる」と話しました。

政権は変わりましたが、これまでと同様に農業事業報告は、州の農業局へ会計報告と共に月間報告と半期報告を提出しています。

流域住民との協議・浚渫活動

四、五年前から私たちはマルワリード用水路の流域住民と月に一度会合を持ち、その時々の問題点を話し合っています。これまで、干ばつや、水不足の渓谷への給水、養魚場を運営したい人からの水利用の申し出などを協議してきました。この会合は現在でも継続されており、流域住民は現在の水利用の状況に満足しています。

昨年八月以降、州政府や郡の関係局にPMSの事業責任者が呼ばれたり、政府職員が活動地を訪問したりしていますが、タリバン政府関係者は皆、礼儀正しく、私たちも大変嬉しかったです。

PMS農場の周囲には、マルワリード用水路の水を利用してあるガンベリ流域の住民から成る水組合があります。昨年十一月には彼らの呼びかけで住民が集まり、ガンベリを横断する用水路三キロを一日かけて奉仕活動（アシャー）による浚渫をいたしました。用水路を自分たちのものと意識してきたこととして喜ばしい出来事でした。

ドクターナカムラの肖像画が描かれている塔がガンベリ公園にあり、私はそこを毎日訪れています。私は、私たちを支え続け

てくださったドクターナカムラを心の底から深く（狂おしい程に）敬愛しています。

ドクターナカムラ庭園には毎日多くの人が訪れ、それぞれに穏やかな時間を過ごしています。

ドクターナカムラはこれまでにアフガニスタンに多くを捧げ尽くしてこられました。私たちはこのことを決して忘れることはありません。そしてドクターのためにも祈りを捧げています。